

東濃西部少年センターの紹介

東濃西部少年センターでは関係公的機関や各種団体との連携を深め、子どもと若者の健全な育成のために次の業務を行っています。

業務の3本柱

子どもや若者との
信頼関係を大切にす

「声かけ活動」

「声かけ活動」のねらいは、青少年の健全育成と迷惑行為・不良行為の予防です。青少年の問題行動にぶつかったときは、いきなり叱責するのではなく、声かけによる相手との関係構築を第1としています。黄色のベスト・帽子の指導員が、3市で定期的に声かけ活動をしています。

若者が主体的に関わる

「啓発活動」

「若者の自立を促す啓発活動」を合い言葉に、「若者から若者へ」という横の関係へと広げるためMS（マナーズ・スピリット）リーダーズと連携します。MSリーダーズとは、平成12年の全国高校総体岐阜大会の折に、県下の各高校で規範意識を啓発するために組織された委員会のことです。高校生自らが、主体的に地域清掃・交通安全・非行防止などの活動・啓発に取り組んでいます。

些細な問題も丁寧に受けとめ、
解決に導くあたたかな

「相談活動」

「あんしんコール」と「あんしんメール」による相談活動は、傾聴と共感を大切にしています。学校、勉強、家庭、友達、いじめ、非行などについて、一人で悩んでいませんか…？
あなたを応援します。力になります。

あんしんコール 0572-23-3480 (午前10時～午後5時 日、月曜休み)
フリーダイヤル 0120-873-246 (同上)
あんしんメール anshin55@crux.ocn.jp (24時間受付)
本人・保護者の方のご連絡を待っています。秘密は守ります。



平成25年第2回議会定例会が開催されました

平成25年7月31日に平成25年第2回東濃西部広域行政事務組合議会定例会が開催され、平成24年度一般会計、各特別会計の決算5件、補正予算1件を原案通り可決し、同日閉会しました。可決された議案は次のとおりです。詳しくは、広域組合ホームページで公表しています。

- 平成24年度東濃西部広域行政事務組合決算認定(5件)
- 平成25年度東濃西部ふるさと活性化基金特別会計補正予算(第1号)



平成24年度決算の概要を公表します

歳入総額(一般会計+特別会計)
3億4,664万6,107円(前年比-1.2%)

歳出総額(一般会計+特別会計)
3億4,131万7,988円(前年比-1.2%)

I. 決算概要

平成24年度は、医師確保奨学資金等貸付事業において新たに奨学生8人を決定し、貸し付けを開始しました。また、3市の消費生活相談窓口資格を持った消費生活相談員を派遣する消費生活相談窓口業務を開始しました。

ふるさと活性化基金事業では、消費生活相談業務に伴う事務費等の増加がありましたが、平成23年度に開催された国際陶磁器フェスティバル美濃'11等に対する補助がなかったため、歳出が前年度より減少しました。

詳細については広域組合ホームページで公表しています。